

こと」を確実にやっていることから、クラスターは発生していません。

引き続き、校医の助言や最新の科学的知見、衛生管理マニュアルなどを組み合わせながら取り組んでいきたいと考えています。

町長の2期目も4か月を残しますが達成度は

武村妃呂子

議員 ①町営杉谷住宅の整理の進捗状況について

入居者に整理の説明を行い、退去や転居の依頼をされて4年以上が経過しましたが、まだ入居されている方もあり「そのまま住み続けられるのなら」と不満の声も聞こえてきます。

解体後の具体的な土地利用は、入居者に退去依頼を行ったときには、決まっていたのか伺います。

②スポーツセンターの解体について

耐震基準を満たしていないため改修は考えていないと議会答弁があつていま

すが、ならば解体して、周辺整備をして、運動公園として町民が利用できる施設にできませんか。

③移住・定住促進施策について

大町町の将来に向けた施策として人口減少の問題解決に必要な施策とは思いますが、大町町移住促進民間賃貸住宅等建設費用補助金要綱が制定され、建設業者が令和3年度までに3970万円余り支払われていますが現在の入居率はどうなっていますか。

④情報プラザの活用について

1億7000万円かけて改築されている「おおまち情報プラザ」は、町の玄関口として大町町をアピールする発信の拠点となるような施設づくりに町民の声を聞く発想の転換が必要と考えますが。

⑤大町の特産物について

大町を代表するB級グルメ「たろめん」を町内の数店舗で提供されていますが、認知度が低いように感じま

す。町をあげてPRすべきではないでしょうか。

⑥ボタ山わんぱく公園の活用について

令和元年度の災害以後、復旧工事のため一般開放されていないが、知恵と工夫で子どもたちの遊び場などとして利用できるようになりませんか。

町長 ①杉谷団地の建て替えは、現行の過疎計画で

最終年度の令和7年度には着手することとしています。説明会は、平成30年8月を第1回目に、4回開催しています。

改善箇所を要望していたが、可能な限り希望を聞きながら対応させていただきましたが、令和元年8月の佐賀豪雨対応により思うように進んでいないのが現状です。

入居者からは「ぜひ自分たちが住める住宅を建設してほしい」ということもあつて、優先的にそちらに移転できる旨の話をさせてもらいました。

教育長

②築後48年が経過し、老朽化が著しく、耐震性を備えない危険な施設であることから、改修して活用することは考えていません。

解体後の利活用について現時点で決まっていないことから、解体についても決めています。

過疎事業の対象になるものを計画していくことになり、基本的に複合施設の計画に併せての協議になると考えています。

町長 ③令和元年度から3年度までで55戸に補助金を交付、11月末の入居率93%、空室4戸となっています。

町が莫大な公費を投じて、直轄での宅地造成や公営住宅を新たに建設することとは難しいと考えている中で、この補助金は転入者の受け皿として、入居できる賃貸住宅を民間の手で建設してもらうことを目的としており、その効果は非常に大きいと思っています。

④改修後の「おおまち情報プラザ」の活用としては、国道34号沿いの活性化、町外からの交流人口の増、ふるさと納税やたろめんのPRなどを目的として、物産所ではなく、これまでと違った形で情報を発信していきたいと考えています。

⑤上京したときなどに「たろめん」の写真入り名刺を渡しPRに努めています。不足だと思つており、さらに大町町のPRに力を入れていきたいと思っています。

⑥令和元年災害ボタ山関連災害復旧工事がまだ完了していないこと、ボタ山わんぱく公園北側の山林で県の防災工事が令和3年7月から始まつており、公園内の町道を大型車両が通行しているなどの理由で、いまだ休園を継続している状況です。

町としてはできるだけ早い時期に公園を再開したいと考えており、ルート変更が可能か、県と協議していることとしています。